

金沢市立額中学校
平成31年度 学力向上の取組（1学期）

1 研究主題 「自ら学び、豊かな人間関係を育む学習活動の充実」
～学びの意欲を引き出す教育活動の工夫～

2 現状・課題（3学期の検証結果、学力分析シート、学校評価等から）

（1）児童生徒の現状・課題

●各種学力調査等より

- ・全国学力調査や県基礎学力調査などでは各項目で平均を上回る教科もあり、基礎的な学力の定着は少しずつ図られてきた。
- ・2年生の12月の評価問題では、数学が平均正答率を大きく下回った。また、無回答の割合が高く今後の課題となっている。1年時より無回答を無くすよう啓発を継続する。

●授業の様子や意識調査より

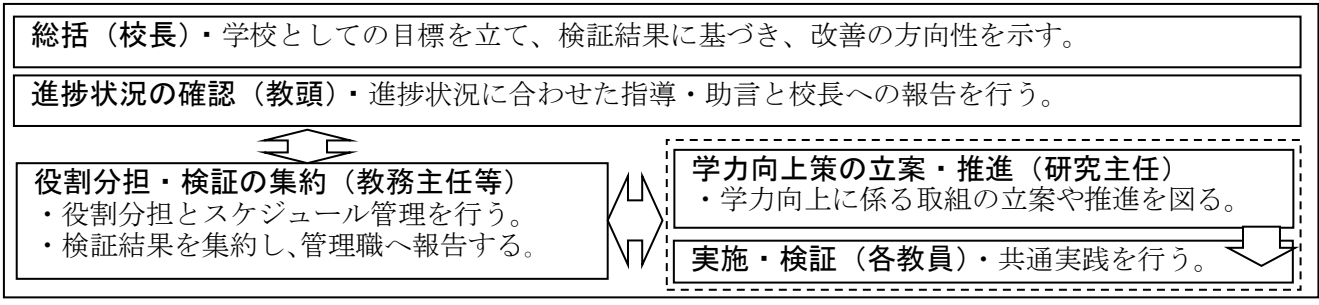
- ・アンケートでは「授業では、生徒の間に話し合う活動をよく行っていたと思う」の肯定的な回答の割合は前期、後期とも80%を超えているが市の平均は上回っておらず、話し合う活動をさらに充実させていきたい。

（2）教員による取組の指導の現状・課題

- ・授業で行う取り組みのペア・グループ活動を行った授業は週案に記入して確認した。また、授業の開始3分前の自主学習は全クラスで行ったが、学年、教科、教員間の取り組みの差が見られたため、来年度は更に共通しての取組を進めたい。

3 重点的に行う取組と検証

		授業で行う取組		授業以外で行う取組	
		取組①	取組②	取組①	取組②
重点的に行う取組		「自分の考えを伝えます」では、明確に目的を持って、ペアやグループ活動を行う。	「『わかった』『できた』をまとめます」では、「まとめ」で考えを説明できるよう指導していく。	基礎的な学習内容の定着のために、定期テスト前に基本プリント(学年共通)に取り組ませる。	家庭学習で、基礎的な知識の定着を図るための課題に取り組ませる。
	検証の方法と指標	方法 実践した授業時間は週案に「G」を書き込む。 指標 実施 100%	方法 週案にまとめの内容を記入する。 指標 実施 100%	方法 テスト前に家庭学習で基本プリントに取り組ませる。 指標 実施 100%	方法 自学ノートでの学習内容を指定する。 指標 毎日点検
	児童生徒の状況	方法 7月の生徒アンケートで確認する。 指標 肯定的な割合 85%以上	方法 7月の生徒アンケートで確認する。 指標 肯定的な割合 70%以上	方法 基本プリントの達成度を確認する 指標 80%以上の理解	方法 家庭学習が行われていない時は学校でさせる。 指標 課題提出90%



月	PDCA	授業で行う取組	研究授業	授業以外で行う取組
4・5月	計画 実践	研究主任 が学力向上策を立案し、全教職員で共有する。 全教員 がグループ・ペア活動や課題に対するまとめ、授業前の自主学習の指導を授業で行う。		研究主任 が学力向上策を立案し、全教職員で共有する。また、テスト等の無回答を無くすよう働きかける。 全教員 がテスト前の基本プリントでの学習と自学ノートの取り組みを行う。
6月	検証 改善 実践	主幹教諭 が週案での指導の状況を集約し、教科間、教員間差を確認する。 研究主任 が指導の状況を確認し、 教頭 とともに改善策を提案する。 全教員 が話し合い活動を取り入れた授業を行うこと、まとめを意識した週案、授業前自主学習について100%の達成率を目指す。	小山教諭 石川教諭 近藤教諭 中田教諭	学年主任 が基本プリントの生徒の到達度を確認する。 全教員 が基本プリントで80%以上の理解に満たない生徒へ補充を行う。 全教員 が自学ノートでの学習の内容を把握し細やかに指導する。 全教員 がテスト前の基本プリントでの学習の取り組みを行う。
7月	検証	主幹教諭 が指導の状況及び児童の状況についての達成状況をまとめる。 校長・教頭・主幹教諭・研究主任 が1学期の成果と課題を整理する。	宮坂教諭 三井教諭	学年主任 が基本プリントの生徒の到達度を確認する。 全教員 が基本プリントで80%以上の理解に満たない生徒へ補充を行う。 全教員 が自学ノートでの学習の内容を把握し細やかに指導する。夏季休業中の基礎的学力補充計画を確認する。 校長・教頭・主幹教諭・研究主任・学年主任・教科代表 が1学期の成果と課題を整理する。

8月以降は、「学力向上の取組（2学期）」「学力向上の取組（3学期）」に基づき実践	
7、8月	全国学調、県基礎学の結果及び1学期の取り組みの成果と課題に基づき、「学力分析シート」を作成する。分析結果から「学力向上の取組（2学期）」を作成する。
9、10、11月	「学力向上の取組（2学期）」に基づき実践・検証・改善を行う。（～12月）
12月	12月評価問題を「学力向上の取組（2学期）」の検証の機会とする。 12月評価問題を採点し、成果と課題を明確にする。
1、2月	県評価問題の結果に基づき、「学力分析シート」を作成する。 分析結果から「学力向上の取組（3学期）」を作成する。 「学力向上の取組（3学期）」に基づき実践・検証・改善を行う。
3月	学年末テスト等を「学力向上の取組（3学期）」の検証の機会とする。